

HIROSAKI
UNIVERSITY



JUNJI MIYAKOSHI

Professor
Department of Radiological Life Sciences
Division of Medical Life Sciences
Graduate School of Health Sciences
Hiroshima University
66-1 Hon-cho, Hiroshima 036-8564 Japan
Phone: +81-172-39-5964, Fax: +81-172-33-2830
E-mail: Miyakosh@cc.hiroshima-u.ac.jp
URL: <http://www11.ocn.ne.jp/~miyakosh/index.htm>

新東京タワー（すみだタワー）を考える会
代表 網代 太郎 様

拝啓

先般お送りいただきました、当研究室における研究に関する御質問について、ここに回答申し上げます。

御査収の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

平成 19 年 6 月 27 日
弘前大学大学院保健学研究科
教授 宮 越 順 二

- ① 今回、我々は、REFLEX 研究のうち、最終レポートの 108 ページ、図 72 で示されている結果を対象として、一部条件は異なるが、再現実験を試みたものである。同じ条件は、連続曝露、曝露時間 (24 h)、REFLEX 結果で陽性効果の認められている SAR(1.3, 1.6, 2.0 W/kg)、細胞の種類である。異なる条件は、周波数で、REFLEX では 1800MHz、我々は 2450MHz である。
- ② 我々の実験結果について、論文は未だ書いていません。再現実験の対象は、上述したように、REFLEX 最終レポートの 108 ページ、図 72 で示されている、高周波曝露による小核頻度の検証実験です。
- ③ 通常、再現実験は、同じ (又は同じ形式の) 装置を用いて行わねばなりません。従って、REFLEX 研究で用いられた同じ装置で実験しようとする場合、ヨーロッパから購入しなければならないと、前回はお答えしました。
- ① 以前、約 1,000 万円と聞いたことがありますが、正確な金額は存じません。
- ② このご質問には、生物学・医学領域を専門とする我々としては、お答えすることができません。
- ③ 曝露装置一式は、備品費および機器レンタル費など合わせて約 400 万円です。
- ④ 上述の REFLEX 再現実験研究に用いた消耗品費などは、約 150 万円です。その研究費の出所は、国の費用で行いました。